

九州における医療機器開発の取組と連携状況

2025年2月

九州経済産業局 ヘルスケア・バイオ産業課

目次

- 1．九州経済の概要 ―経済規模―
- 2．九州の医療機器生産金額
- 3．九州における医療・介護機器開発等の取組
 - (1) 九州ヘルスケア産業推進協議会（HAMIQ）
 - (2) 地方自治体の取組【東九州メディカルバレー構想】
 - (2) 地方自治体の取組【大分県】
 - (2) 地方自治体の取組【宮崎県】
 - (2) 地方自治体の取組【福岡県】

1. 九州経済の概要 —経済規模—

九州は、人口や面積、就業者数、事業所数、域内総生産、輸出額をはじめとした経済の基礎となる指標が概ね全国の10%程度であることから、九州の経済は「1割経済」と言われている。

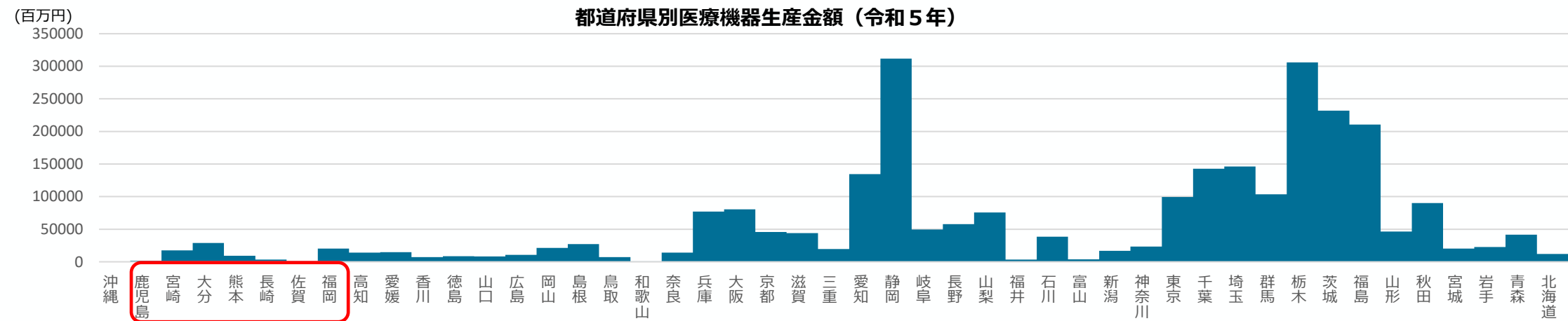
	九州	全国比	全国
人口	1,280万人	10.2%	12,593万人
面積	42,230 Km ²	11.2%	377,974 Km ²
就業者数	585万人	10.1%	5,764万人
事業所数	54 万	10.6%	508 万
域内総生産	48.3兆円	8.3%	580.8兆円
輸出額	8.2兆円	8.4%	98.2兆円



(出所)人口:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和4年1月1日現在)」 面積:国土交通省「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」 就業者数:総務省「令和2年国勢調査」
事業所数:総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査(速報)」 域内総生産:内閣府「令和元年度県民経済計算(名目)」 輸出額:財務省「貿易統計(2022年)」
(注1)「事業所数」は、民営の事業所数。

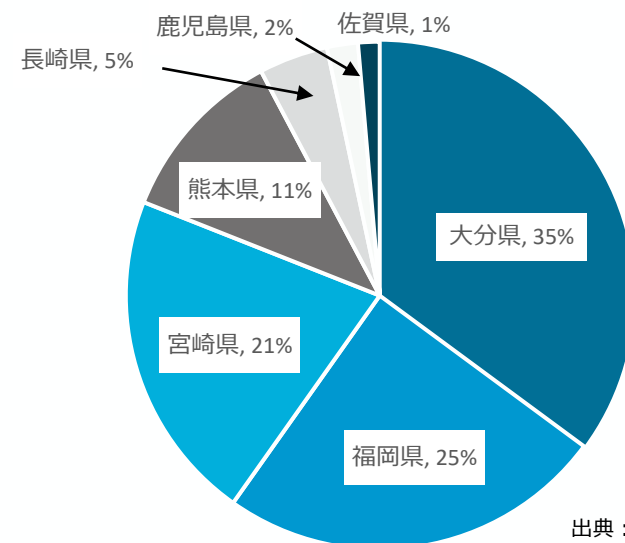
2. 九州の医療機器生産金額

令和5年の九州の医療機器生産金額は約825億円で福岡県、大分県、宮崎県でその8割を占めている。また、全国の医療機器生産金額に占める九州の割合は約3%。



九州地域各県の医療機器生産金額と域内割合（令和5年）

県名	生産額 (百万円)	全国順位
福岡県	20,358	27位
佐賀県	1,131	45位
長崎県	3,632	42位
熊本県	9,283	36位
大分県	28,960	21位
宮崎県	17,488	29位
鹿児島県	1,622	44位
九州	82,474	

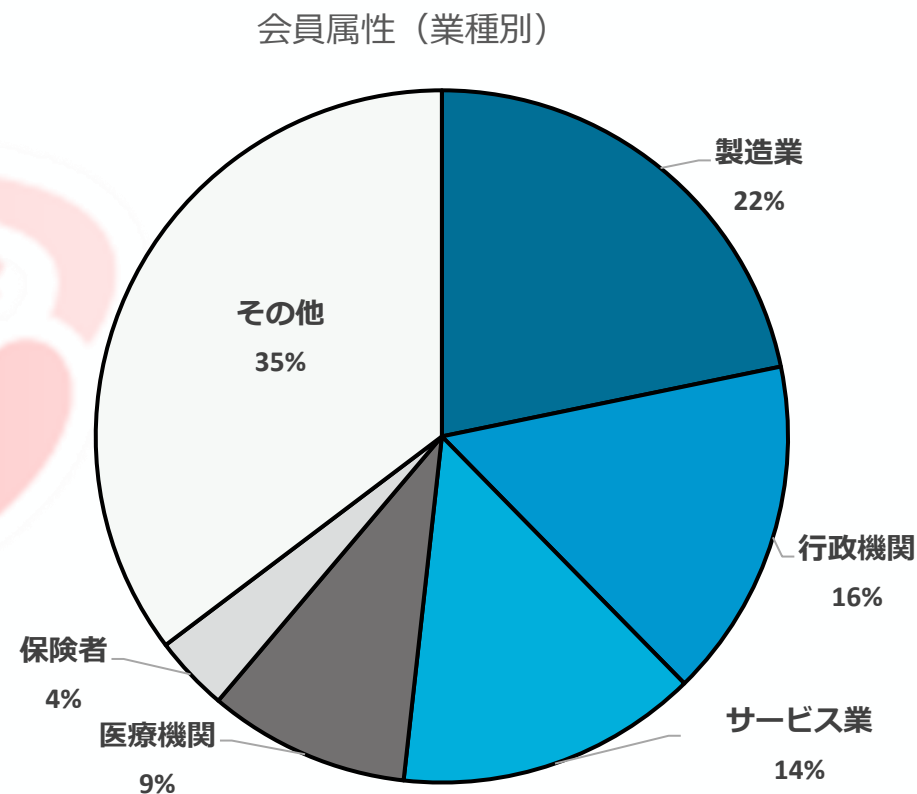
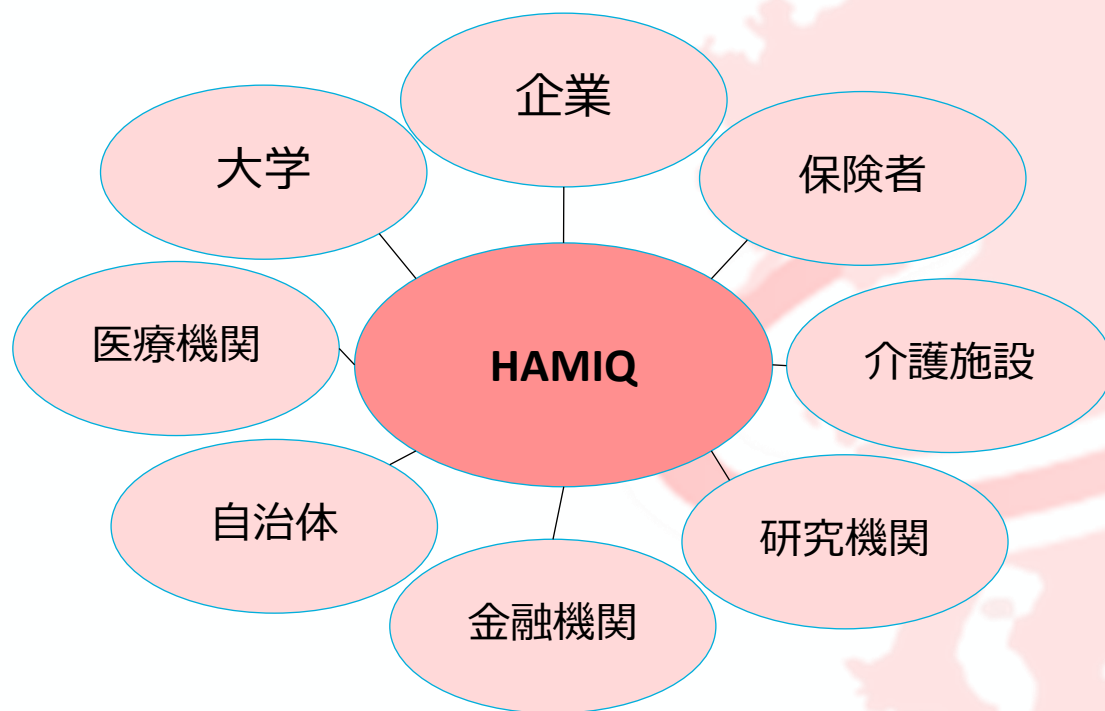


3. 九州における医療・介護機器開発等の取組

(1) 九州ヘルスケア産業推進協議会（HAMIQ）

九州ヘルスケア産業推進協議会は、九州地域の「健康寿命延伸する社会の構築」を実現するためにヘルスケアにかかる様々なステークホルダーを巻き込み連携していくための場として2013年7月に設立。

①会員 会員数：170会員（2024年5月現在）



3. 九州における医療・介護機器開発等の取組

(1) 九州ヘルスケア産業推進協議会 (HAMIQ)

②主な実施事業

“ヘルスケア産業づくり”貢献大賞

九州地域のヘルスケア産業の需要づくりや供給力の向上に貢献したモデル性の高い取り組みや活動を表彰。これまで11回実施し延べ73社の先進的な取り組みを発掘。

医工連携イノベーション推進事業「地域連携拠点」(AMED)

九州・沖縄地域を拠点として、案件初期段階からグランドデザインを描く事業計画に基づいた伴走支援体制の構築を目標に、従来の「作ったけど売れない」から脱却した「売れる視点」の医療機器開発を支援。

専門家によるハンズオン支援

医療現場の多様なニーズとものづくり企業の優れたシーズのマッチング、医療・介護機関とサービス事業者のコラボレーション、医療機器メーカーの新市場開拓や技術開発、他分野から医療機器分野・ヘルスケアサービス分野への参入及び高度化支援など事業者に対してきめ細やかなサポートを行うため、医療機器関連分野とヘルスケアサービス分野の知見を有する専門家を配置。



2024年“ヘルスケア産業づくり”貢献大賞受賞企業

3. 九州における医療・介護機器開発等の取組

(2) 地方自治体の取組【東九州メディカルバレー構想（大分県・宮崎県）】

【目標】

東九州地域において、地域の特長である血液・血管関連の医療機器のみならず、介護・福祉機器分野を含む医療関連産業の一層の集積等を図ることにより、地域の活性化とアジアに貢献する医療産業拠点を目指す。

我が国全体の医療機器産業の成長と日本製医療関連機器の市場拡大に寄与する。

【4つの拠点づくり】

研究開発の拠点づくり

医療関連機器産業の
拠点づくり

医療ネットワークの
拠点づくり

医療技術人材の
拠点づくり



3. 九州における医療・介護機器開発等の取組

(2) 地方自治体の取組【大分県の主な取組】

①大分県医療ロボット・機器産業協議会

平成28年度、県内企業による医療、介護・福祉機器分野への参入を一層加速するため、「大分県医療産業新規参入研究会（平成23年8月設立）」と「大分県ロボットスーツ関連産業推進協議会（平成26年3月）」を統合し「大分県医療ロボット・機器産業協議会」を設置。

会員数は217企業・団体（企業185社、支援機関32団体）（令和7年1月1日現在）

②新規参入支援

医療機器産業への新規参入や法規制に係る人材育成のため、医療関連産業参入促進セミナー等を実施。

③製品開発支援

- ・ 医療・看護・介護・福祉分野において、会員企業が新たな医療関連機器やソフトウェア等の事業化に要する経費に対し助成。（補助額：400万円以内 補助率：3分の2）
- ・ 臨床工学技士会や介護福祉施設と連携し会員企業が開発した機器などを現場目線で評価後、企業へフィードバックし事業化に向けた支援を実施。

④販路開拓支援

- ・ 県産機器を導入する県内医療・福祉施設を支援（補助額：50万以内 補助率：2分の1）
- ・ 展示会や学会に出展する会員企業を支援（補助額：20万以内 補助率：2分の1）
- ・ 全国規模の展示会に会員企業とともに共同出展
- ・ 県産機器の展示場・交流スペースの設置

3. 九州における医療・介護機器開発等の取組

(2) 地方自治体の取組【宮崎県の主な取組】

①宮崎県医療機器産業研究会

医療機器産業の振興を図るため、宮崎県内の産学官が連携し、企業の新規参入、取引拡大を推進することを目的として平成23年10月に設立。

会員数は121企業・団体（企業100社、支援機関21団体）（令和6年11月1日現在）

②製品開発支援

研究会会員など県内企業が行う医療・ヘルスケア関連機器の開発・改良及び付随する取組（展示会等出展、調査研究、薬務対応等）に要する費用について補助（補助上限額：200万円 補助率：3分の2）

③コーディネーターによる支援

- 臨床ニーズ（大学・病院）と開発シーズ（企業）とのマッチング、参入・開発、薬事戦略、販路開拓など各段階に応じたコーディネーターによる伴走支援を実施。
- 研究会会員企業等の開発人材育成のための連続講座を実施。

④販路開拓支援

- 全国規模の展示会に会員企業とともにブース出展。
- 大分県・宮崎県北部メディカル産業推進協議会と“本郷展示会”を開催。



人材育成講座

3. 九州における医療・介護機器開発等の取組

(2) 地方自治体の取組【福岡県の主な取組】

① 福岡県医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク

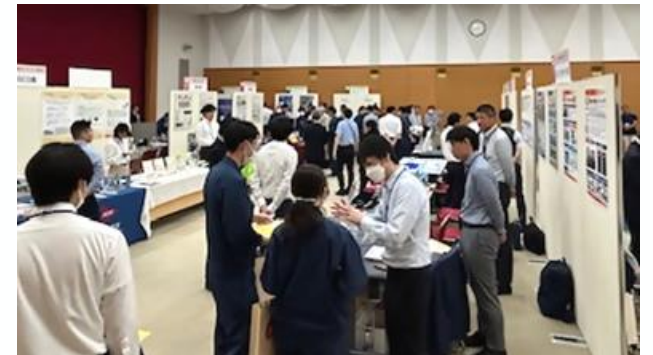
- ・ 福岡県の医療福祉機器開発を推進するため、平成26年7月に設立。
- ・ 県内企業、病院・福祉施設、大学、行政、支援機関等が連携し、機器の開発・製品化における課題解決に取り組む。
- ・ 会員数は473会員（企業353社、病院・福祉施設・大学・支援機関120団体）（令和6年12月末現在）

② 製品開発支援

- ・ 九州大学先端医療オープンイノベーションセンターと連携し、医療現場のニーズ把握から実用化までを支援する医工連携モデル事業を実施。
- ・ 企業に対し、コーディネータによる医療福祉機器開発に関するアドバイスや医療福祉現場とのマッチング等を支援。
- ・ 革新的な医療機器を開発する県内企業を対象に、研究開発費の一部補助、医療機器開発の専門家による事業推進・開発品実用化に向けた支援。（補助上限額：500万円 補助率：2分の1）

③ 販路開拓支援

- ・ 県内企業の医療機器産業への新規参入及び販路拡大を図るため、大手医療機器メーカーへの技術提案展示商談会を実施。
- ・ 大手医療機器メーカーが求める技術や製品ニーズに対して、県内企業が有する技術・工法・製品を提案。



大手医療機器メーカーへの技術提案展示商談会

ご清聴ありがとうございました。